

Hiroshima NOW

9

2024

やさしい日本語 No. 29

ひろしまし
広島市からの し
お知らせです：結核に き
気をつけてください

結核とは どのような病気ですか？

「結核菌」という細菌が 起こす 病気です。結核に かかっている人の せきや くしゃみの中 には 結核菌を 吸いこむと 結核がうつります。結核が うつっても 多くの人は 免疫の力< 細菌や ウイルスなどから 体をまもる力>で 結核の病気に ならないままです。しかし、いちど 吸いこんだ 結核菌は からだの中にいます。免疫の力が 下がると 結核の 病気の 症状が 出ることがあります。

結核になると どのような症状が 出ますか？

結核になると 微熱<あまり 高くない熱>、せき、たん、からだ が だるいといった 症状が 出ます。症状は かぜに よく 似ています。このような状態を 放っておくと 病気が 悪くなります。もっと悪くなると 死ぬこともあります。また あなたの まわりには 家族や 友だち に 結核を うつしてしまいます。

どういふ人が 結核に なっていますか？

日本では 70歳より 年れいが上の 高齢の人が 多いです。
今、外国で生まれた 年れいが若い人で 結核になる人が ふえています。日本の 20代(20歳から 29歳)で 結核になる人の70%は 外国で生まれた人です。

早めに 病院へ 行くことが たいせつです

かぜの症状が なおらないときは 早めに 病院へ 行ってください。学校や 働いているところで 健康診断を 受けることができる人は 1年に1回は かならず 健康診断を 受けてください。健康診断を受けて もう一度 検査をしてくださいと 言われたときは 早めに 病院へ 行ってください。

問い合わせ：健康推進課 082-504-2882

